

放送大学 群馬同窓会

あかぎね

赤城嶺

第 70 号

発行者 放送大学 群馬同窓会

発行月 令和 7年 1月

責任者 蓑輪 欣房

編集 情報委員会



目次

P2 同窓会長 挨拶 「失敗は学びの一步」

P3 1学期学位記授与式 2学期入学者の集い

P4 1学期卒業・修了祝賀会 新入会者の一言

P5 同窓会連合会北関東甲信地区交流会報告 研修会「認知症を学びみんなで考える」

P6 令和7年度同窓会定期総会のお知らせ 課題発表会のお知らせ

P7 放送大学同窓会連合会からのお知らせ

- ・ 令和6年度卒業・修了祝賀会
- ・ 同窓会連合会創立35周年祝賀会
- ・ Tシャツ作成販売

P8 ひろば「会員の声」欄 住所変更など各種変更についてのご案内 編集後記



失敗は学びの一步

会長 簗輪 欣房

同窓会の皆様 新年あけましておめでとうございます。令和7年が始まりました。

同窓会は同窓会員一人一人にとってどういう存在なのだろうと考えると、必ずしもすべての人が同窓会を身近に感じているとは言えないのではないのでしょうか。今、同窓会員の数は570人あまりです。同窓会員一人一人の持てる力は小さくとも、570人の力を合わせれば、多くのことが成し遂げられそうに思います。多くの同窓会員にとって、もっと身近で、親しみやすい「放送大学の卒業生のための同窓会」となるよう努力したいと思います。もちろん、母校である放送大学の発展に寄与することが重要なことは言うまでもありませんが、私たち同窓会員の結束があって初めてなしうることと思います。少子化が進み、日本でも大学の存続が危うい昨今、放送大学の価値を世の中に知らせることが必要です。そのための支援が少しでもできれば、同窓会としてこれほど嬉しいことはありません。

どんな課題でも立ち向かうとき、最初は失敗することもあると思います。あの大谷翔平選手でもメジャーリーグでの7年間、通算で225本のホームランを打ちましたが、この期間に通算で917回の三振をしています。思いっきり振らなければホームランは打てませんし、三振を怖がってはホームランは打てません。三振の積み重ねは最高の学びだったのです。うまくいかない結果が続いているとき、それを“失敗”と捉える人と、「良い学びができた」と一歩進む人は、全く違う未来があります。リスクを覚悟し、誰よりも失敗をし、それでも諦めず成長しながら歩み続ける人には、自然と信頼と信用という資本が身につくとともに多くの人達に影響と導きを与えることができるようになります。たとえ失敗しても落ち込まず、学びに変えて一歩進んで素晴らしい未来に変えてください。

同窓会としては各界でご活躍の卒業された皆さまとの「繋がり」を持ち続けることが大切だと考えています。「興味関心から教養を広げる学び」を縦の糸、放送大学で学んだ皆さまとの繋がりを横の糸とすると、その交点に同窓会があります。縦糸と横糸をどのように紡いで絆を深める機会を提供していくのか、同窓会員や在学生と共に自分達の成長につながる機会になるようにしていくか、それが今後の同窓会に課せられた大きな使命だと思っています。今後も群馬学習センター、各サークルの方々とコミュニケーション、連携を取るようになっていきたいと思っています。

放送大学で学んだ皆さま、ぜひ同窓会活動へご参加ください。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。私だけでなく、同窓会役員の方々とともに、一つ一つの活動を着実に実行し、皆様の期待に応えられるように努力したいと考えています。

2024年 放送大学1学期 学位記授与式



10月6日（日）の午後13分より、群馬学習センターで学ばれた方々の1学期学位記授与式が執り行われました。学士の学位を授与された方35名、修士の学位を授与された方は1名の計36名の方々です。なお大学全体では学士の学位を授与された方2,237名、修士の学位を授与された方は4名のです。

群馬学習センターで学び卒業された方々の内16名の方は学修奨励賞表彰者です。おめでとうございます。

同窓会から会長が臨席し、『人間の才能というのは、どこに隠されているか分かりません。努力してみても、はじめて自分に能力のあることに気づくものなのです。是非、みなさん、なりふり構わず、自分の可能性を最後の最後まで追求する自分磨きを、そして、可能性を広げる努力を続けて欲しいと思います。その際に、



同じように学んだ仲間の「繋がり」と「絆」を大切にしてください。「繋がり」は人と人との関係性のことを指し、「絆」は、「繋がり」に感謝や尊敬、敬愛、愛情、恩義などの人の想いを伴っての関係性を表しているのではないかと考えています。この「繋がり」「絆」に同窓会を活用していただければありがたいです。』と祝辞を述べさせていただきました。

2024年 放送大学2学期

入学者の集い



二学期から群馬学習センター所属で学ばれる方は学部生251名、大学院生21名の合わせて272名の方々が入学され、入学者の集いが10月6日（日）の午前10時より催されました。

同窓会から会長が臨席し、『私達はいま膨大な情報の中で生きています。あの世間を騒がしたコロナ禍に関しても、政府の見解、専門家の意見、海外での状況の報道、それらを受けた一般市民の反応、等々、今なお様々な情報がマスコミから発信されています。その情報の中には、時として事実とはかけ離れた内容が含まれていることもあります。このような状況の中では、ある一つの意見だけを鵜呑みにするのではなく、いろんな情報を総合的に受け止め、フェイクニュースに惑わされることなく、真実を見抜く力が求められます。そして、その力をつけてくれるのがまさに幅広い教養と複数の視点から物事を考える素養だと思います。異なる意見や視点を参考に、最後は自分で判断する能力が、今後ますます必要となってきます。放送大学では、様々な分野の授業が多数開講されており、比較的自由に自分の興味のある科目を選んで履修することが可能です。自分の興味で受講科目を選択することは、幅広い教養のみならず異なる視点から物事を考える力を育ててくれます。どうか、幅広い教養を身につけ真実を見抜く力を培ってってください。』とこれから学びを始める方々にいろんな視点から思考することの大切さを祝辞として述べさせていただきました。



2024年 放送大学1学期

卒業・修了 祝賀会

10月6日（日）の学位記授与式の終了後に学習センターの講義室をお借りして同窓会として卒業・修了の祝賀会を催しましたところ、祝賀会には工藤所長をはじめ客員教授の方々に出席していただきました。



祝賀会に出席された卒業、修了された方お一人お一人からお話をしていただきました。卒業生から、「もう一度再入学をしたい」「卒業を機に資格試験にも挑戦したい」「高校を卒業して放送大学に入学して右も左もよくわからない中で授業について

行くのが精一杯だったが、憧れの大学卒の資格が頂けて嬉しい」など、それぞれの方から喜びの声を頂きました。この実り多き学びから得られた糧として、今後も引き続き、自己実現に向けて学び続けて頂きたいと思



ます。
卒業・修了の祝賀会に参加された方から感想をいただきましたのでご紹介いたします。

戸部雅貴さん

かつて家庭の事情で大学に行けませんでした。だが今回夢が叶い無事卒業することができました。元々は学習センターでの学習がメインでしたがパソコンでも学習や試験が実施できるようになり社会人でも学びやすい環境になりとても嬉しかったことを覚えています。今後も継続して入学し学芸員の資格取得を目指し、励んでいく所存です。

千葉智恵子さん

本日は卒業式や同窓会主催の祝賀会に参加させていただきとても楽しく皆様と交流ができ有意義な時間が過ごせました。

桜井 隆さん

生活と福祉コースを10科目20単位、修得して卒業しました。ほとんど、これまでに経験したことのない分野で新鮮な感じがしました。同時に常識として知っておくべき事項が多く充実感も強く持つことができたと思っています。

これまでに幾度となく思っていたことですが、20年早く学んでいたならば、その成果を有効に使用することができたはずですが、それでも知識として、知っているのと知らないのでは違っているのは明白です。「何らかの糧」にはなると考えています。

新入会員の紹介

新たに入会された方から『ことば』をいただきましたのでご紹介いたします

小林正人 さん

放送大学に入学したのは、60歳の時だった。所謂、60の手習である。医師として毎日忙しく働いていたが、そろそろ医学以外の勉強もしてみたくなった。多くの患者の死に向き合っ、死とは何かを考えるようになった。医学以外の方面から死について学びたいと考え、哲学と宗教が学べる放送大学に入学した。入学してみると、哲学と宗教以外にも興味をひく授業が多く、楽しんで学んでいる。入学して4年経ったが、10年間は学生でいられるのでゆっくり自分のペースで学んで行きたいと思う。現在は、受験で勉強した物理と化学を学んでいる。基礎知識はまだあったが、流石に大学の物理と化学はレベルが高く悪戦苦闘している。試験に受かるために勉強するのではなく、純粋に好奇心を満たすために学ぶのは楽しいし、頭もリフレッシュできる。学ぶのに遅いことは決して無い。何歳になっても、向上心と好奇心は失いたく無いものだ。

連合会北関東甲信地区交流会

9月17日、18日の2日間開催されました。1日目の17日は山梨県立図書館の会議室を会場

にして山梨学習センターの村松俊夫所長より「山梨から放て、芸術文化のバイブレーション」を演題に記念講演があり、美術作品の鑑賞、

音楽活動への参加など芸術についての幅広く興味深い話でした。林 副学長から、放送大学の現状と課題をスライドを使いながらの分かりやすい内容の話がありました。

情報交換では、学習センターの所長とのランチタイムの実施など独自の活動など工夫した活動の情報と各同総会が共通する終身会費の課題と年会費にすると毎年の会費徴収についての困難さ、後継役員探しの問題等が話し合われました。

2日目の18日は会場を県立美術館に移して、造形が専門の山梨学習センターの村松俊夫所長に解説をしていただき、ミレーの「落ち穂拾い」「種まく人」、バルビゾン派の作品「森の中 夏の朝」「オワーズ河 夏の朝」などの実物を鑑賞し、本物に触れることの大切さを学ぶことができました。



参加者の方々



同窓会主催研修会 認知症を学びみんなで考える

12月15日(日)に認知症の特性や症状の特徴を正しく理解することで認知症への恐れや偏見をなくすことができるという一歩にこの研修会に

ればと願って開催しましたところ、30名余の方の参加がありました。講師の福田さんの認知症を理解するためのわかりやすい話と受講者をグループワークで巻き込んだ講義に2時間があっという間に過ぎてしまいました。

参加者の感想の一部を掲載させていただきました。

『大変楽しく学び、ありがとうございます。不安な気持ちが少し和らぎました。』

『最後の演習で認知症を持つ人が求めていることが体感できました。1人では難しいので社会や職場全体で考えられれば良いと思いました。』

『大変有意義な講義でわかりやすく、楽しい時間を過ごせ、認知症への理解が深まった。』

『誰もが認知症になりうるということ、その時に困った人として扱うのではなく寄り添ってあげたいと思いました。ありがとうございました。』

『自分の今後のことについて考えることができました。』

『認知症に学ぶことは、これから必要課目だと思います。特に寄り添いの気持ちを持つことが大切であることを痛感しました。』

『とてもわかりやすく楽しく受講できました。沢山の学びや笑顔もあり、認知症に対する不安や怖さも薄らぎました。本日は貴重な時間をありがとうございました。参加して良かったです。』



『病気に対して考える機会になりとても勉強になりました。笑顔、ふれあいの大切さを改めて教えていただきましたので今後に活かしていければと思います。』

～認知症を学びみんなで考える～



令和6年 12月15日(日) 参加申し込みはQRコードをスマホなどで読み取るか、下記094-1474-1212にTEL、またはLINE、お電話のいずれかでご連絡ください。
時間 10:00～12:00
会場 群馬学習センター
定員 30名
www.2061-edu.com/shyabo.co.jp



令和7年度定期総会のお知らせ

令和7年度「定期総会」と「記念講演会」を令和7年4月13日(日)に開催します。多くの会員の皆様の出席をお願いいたします。なお、準備の都合上、同封いたしました送料不要のハガキまたは、下記に表示しましたQRコードを読み込んでの送信により出欠のご連絡をお願いします。またご欠席の場合は、議事に関する委任状を提出していただけますようお願いいたします。

日時: 令和7年4月13日(日) 午後1時00分～1時40分

会場: 放送大学群馬学習センター 第2、3講義室

議案 第1号議案:令和6年度事業報告及び決算報告

第2号議案:令和7年度事業計画案及び予算案

記念講演会 総会後の午後2時から工藤貴子学習センター所長による講演会を予定しています。講演の演題は現在未定ですが、決まり次第群馬学習センターのラウンジに掲示させていただきます。

「出欠確認及び委任状のご提出について」

総会への出欠席確認、委任状の提出は左記のQRコードをスマホなどで読み取って送信していただければハガキを返送する必要はありません。なおQRコードを利用されない方は出欠席のハガキを返送してください。総会への出欠席確認とともに郵便料金の値上がりに伴い、今後の「会報」の送付についての意向を確認していますので返信を忘れないようにお願いします。



卒業・修了される方々が研究結果、学習成果を発表する課題発表会が行われます

日時: 令和7年3月8日(土) 10時～12時 会場: 群馬学習センター 第2、3講義室

発表される方は

正木 恭子 さん

『避難所における避難動物情報の把握の現状と避難動物ラピッドアセスメントシートの提案』

斉藤 貴司 さん

『学校理科の教科書における問題の類型化と「問題を見いだす力の育成」に関する研究
～小学校第5学年「天気の変化」の単元を事例にして～』

田所 瑞絵 さん

『ネパール人留学生にとって日本留学とは何か

— 元留学生へのインタビュー分析からの一考察 —』

自分なりに考えたことを発表することで新たな視点や考えを得られる。そのことで学びが更に奥深く豊かなものになっていくこともあります。学ぶこと、何かについて研究すること、課題追求することは外面でなく、内面を充実させ、多様な価値観に触れることで、視野が広がることにつながります。自分の「学び」においても良い影響があることは間違いありません。その機会として課題発表会に参加してみてください。

次はあなたが発表者として様々な考え、思い、実践を発表してください。

放送大学同窓会連合会

放送大学同窓会連合会は、

- 生涯学習の理想の実現をめざす
- 情報の共有化をはかる
- 各同窓会相互の親睦
- 母校及び同窓会の隆盛発展を図る

を目的として活動しております。

令和6年度は祝賀会、Tシャツ販売などの企画を実施する予定です。



昨年の祝賀会の様子

令和6年度卒業・修了祝賀会

2024年度放送大学「卒業・修了祝賀パーティ」を令和7年3月22日に学位記授与式後にホテルニューオータニを会場に催します。令和7年3月卒業・修了の方は是非参加申し込をしてください。



今年度の会場 ホテルニューオータニ

35周年祝賀会

2025年に放送大学同窓会連合会は創立35年になり、記念行事を下記の日程、会場で開催の予定です。

日時： 令和7年6月7日

会場： 放送大学本部 図書館大会議室

詳細はまだ決まっていません。



放送大学本部

Tシャツ販売

同窓会の活動するに当たって財源の確保は必要です。その財源を確保するひとつとして同窓会連合会はTシャツを作成し、販売して収益を図り各都道府県にある同窓会を財政的に支援することにしました。

同窓会員の方が周囲の人に宣伝していただき販売数が増えれば群馬同総会への支援も増えて群馬同総会も助かることになります。

販売価格は 1枚 2000円

サイズは XL L M S の4種類

色は白のみ

テイジンの快適快感素材(ポリエステル100%)をTシャツに使用 吸汗速乾性(綿の1.3倍の吸水性・1.1倍の通気性) 紫外線カット (UPF 50+)



問い合わせは次のメールアドレスにお願いします。
mnowa2024@ymail.ne.jp

